

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		New Step 大坂 2nd 吹田青葉丘教室		公表日		令和7年5月1日	
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	最大限のスペースの活用。また利用人数に見合った運動プログラムを提供する等、工夫しています。		日々の整理整頓、配置換え等も含めて、定期的に実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	基準に沿った配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	その日のスケジュールの視覚化を実施しております。事業所内入口に2段の階段がございますので、支援員の見守りやサポートにて安全に配慮した対応を行っています。		その時々にて通所される児童に沿った対応を行えるよう、定期的な見直し、対応を実施していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	児童通所前、通所後に教室内、物品の消毒等を行っております。遊びや活動スペースを広く取れるような、工夫した配置をしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	気持ちの沈んでいる時等、一人で落ち着ける、また支援員とゆっくりとお話を行うスペースを確保しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	細かな報告、情報共有の話し合いを実施しております。非常勤支援員に対しては、連絡ノート等も活用しながら、周知を図っています。		児童の通所前に近況の確認、またその日の療育終了後にて非常勤支援員も含め振り返りを行う事で、各職員間での情報周知を更に図っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	4	毎年度末にて保護者アンケートを実施しており、ご意見や問題点の把握、改善を図っております。		課題の整理を行い、職員間で話し合いを実施し、ご意見等の周知、改善を図っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	定期的に聞き取りを行い、課題の集約を行う事で、その後の改善に向けて対応を行っています。		確認出来た課題に対して、各支援員に対して対応策について更なる周知を図れるよう、伝達方法については引き続き検討を進めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	完全な外部評価は行えていません。		外部機関を取り入れた評価を行えるように改善を図ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	研修計画に沿った各支援員に対する研修機会の確保、また事業所単位、法人単位による研修機会を確保しています。		今後も引き続き様々な状況を想定した研修を実施していき、支援員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ガイドラインにて示されている「5領域」について、総合的な支援を行える形にて、支援プログラムを作成、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	お子様、保護者様とお話合いやアセスメントを実施し、ニーズを踏まえた上で個別支援計画書を作成しています。		更に保護者様と連携を図れるような対応を検討していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	モニタリング実施時は、日々の個人記録、また各支援員からの意見等も含めて実施しており、多角的な視点にて個別支援計画書の作成を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	支援に携わる支援員については、閲覧確認も可能な状況としており、児童通所前では、計画に記載している支援における注意点等も随時周知を図っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	アセスメントシートを作成しており、常時更新しています。日々のお子様のご様子については個人記録、また気になる状況がある場合は別途行動分析シートを活用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0	モニタリングによる直近での様子やニーズも含め、5領域だけでなく、本人支援や家族支援等、家庭状況にも鑑みた形で支援内容を設定し、個別支援計画書に反映しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	常勤支援員を中心とし、各支援員の長所を活かしたプログラム作成を行っています。		非常勤支援員に対する取り組み内容の更なる周知についても深めていけるよう対応を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々プログラム内容の検討を行い、お子様が興味を持てるよう柔軟にプログラム作成を行っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	集団活動が基本となっていますが、必要に応じて個別支援や個別対応も随時行っています。		必要な部分につきましては、個別支援計画書にも反映の方を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	1	通所児童の近況等の情報共有確認、また各支援員の当日の役割確認等の機会を毎日設けています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	支援終了後に当日の様子も含めて振り返りながら情報共有を図っています。		連絡ノートを作成し、幅広く情報共有を図る事が出来るようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	日々の様子の変化等を把握できるよう、毎回記録を残し、今後の支援に活かしています。		個別支援計画に記載している課題に沿った部分については重点的に記録へ残し、検証や改善に繋がっていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	2か月ごとにモニタリングを実施しており、個別支援計画書の継続や修正等の見直しを行っています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数的組み合わせ支援を行っているか。	11	0	支援員サポートのもと、また各種活動を通して、生活面の充実や遊び機会の提供、児童間での関わりや主体性のある取り組み等を経験し、また課外活動等にて様々な事を経験し、地域の方との交流機会となるよう支援を行っています。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	気持ちの汲み取りだけでなく、少しづつ他者と相談をした上で決定していく等の意思決定支援を、お子様の様子も見ながら、また発達段階に合わせて支援を行っています。		

関係機関や保護者の連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者の出席を基本としていますが、状況に応じて最速だと判断する支援員が出席するなど、柔軟に対応の方を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	1	保護者様とも連携を図りながら、必要に応じてお話し合いでの情報共有や相互確認等を各関係機関で行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	1	保護者様にも協力を依頼しながら、各学校との連絡調整等の連携を図り、情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2	連携可能な場合は該当事業所と必要な情報の聞き取りや情報共有等の連絡調整に努めています。	該当する児童がいる場合、保護者様の了解やご協力を仰ぎ、こちらから働きかけ等の連携協力を図っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	2	現在のところ、項目に該当する児童はおりません。	必要に応じて、該当児童に対する支援内容や状況等について移行先事業所と連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	2	随時連携を図っています。研修会が開催される場合は、積極的に支援員の参加を行っています。	連携面や研修に参加する中で得た知識等について、各支援員へ周知していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	3	課外活動の際に、現地や地域の方との交流機会を設けております。	交流機会の提供については、現状十分とはいえませんが、利用されている保護者様のニーズも随時確認しながら、引き続き検討を進めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	1	市の取り組みや吹田市事業所連絡会には変わらず出席しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	連絡ノートだけでなく、電話やライン等も活用しながら日々の様子や課題等について情報共有を図っています。	面談等の活用、また情報共有しやすい環境作りにも努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	4	保護者様からのお困りごと等の相談に対して、お電話や面談等にて対応しています。	対応はしていますが、現状十分とは言えません。今後もきめ細やかな対応やサポートを行えるように検討・改善を進めていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	ご契約の際にご説明しています。ご不明点がございましたら、改めてご説明を行い、その他サポートを行います。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	1	計画書作成の際は、お子様や保護者様のご希望の聞き取りを行った上で計画書を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0	計画書の仮案を保護者へ提示し、保護者の同意を得た上で個別支援計画書作成としています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	保護者様から悩み事や相談事があった際、お電話や面談等を通して、迅速な対応を心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	5		令和6年度も、社会情勢等を鑑みて、保護者会の開催がなかなか難しい状況となっております。保護者様のご希望も考慮しながらではありますが、保護者会再開に向けて検討を進めていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	児童や保護者様よりご相談を受けた場合は、必要事項の確認を早急に行なった上で回答する等、迅速な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	定期的に保護者様に向けて会報の方をお配りし、情報共有を図っております。	定期的な配布を継続出来るよう、事業所として準備等進めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	保護者様に対してはご契約時に説明と共に、同意書を頂いております。また、全職員に対して個人情報の取り扱いの指導・管理を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	契約書類等について、拡大文字版やルビ版等の作成、準備をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	4		現在、地域での行事開催は行えておりません。社会情勢等も含め、今後も検討を重ねていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	各マニュアルにつきましては、ご契約時に説明をしています。	周知方法につきましては、引き続き検討が必要の部分と認識しています。事業所にて、また配布等方法については引き続き検討を進めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	BCPの策定と共に、事業所内にて定期的に避難訓練やマニュアル等の確認、周知を図っています。	通所されているお子様につきましても、定期的に防災センター等で参加型での体験学習を行える機会も引き続き設けていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	通所前のアセスメント時、またアセスメントシートも活用し、お子様の健康面について確認、周知を行っています。	必要に応じて、保護者様に対して医師の診断書や指示書を求めています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事前のアセスメント時にて、通所されるお子様にアレルギーの有無等の確認を実施しています。	アレルギー対応に伴い、必要だと判断した場合は、保護者様に医師の指示書の提供を求めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	安全計画を作成し、その中で計画的に研修や想定訓練等を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	安全計画に基づき定期的に資料の配布を行っています。	今後も引き続き会報と共に、また資料をお渡しする等、周知方法については検討を続けながら、保護者様への周知に向けての取り組みを進めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	事業所内にてファイリングしており、常時閲覧可能としています。また、法人内委員会にて集約や検討を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1	定期的に虐待防止研修を実施しており、また外部の虐待防止研修につきましても、積極的に支援員の参加を行っています。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従事者に周知徹底しているか。	9	2	虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催しています。委員会報告書等を活用し、他支援員に周知を行っています。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1	身体拘束0に向けての取り組みを行っており、身体拘束は行っていません。	